

科学技術の潮流

JST 研究開発戦略センター

90

GDP 大幅減

世界全体の新型コロナウイルス新規感染者数は2020年3月から4月には欧米を中心に、6月から7月にかけてはインドやブラジルなどの新興国で、10月以降は世界的に急増した。今年に入り減少しているが、今後の動向は予断を許さない。

向は予断を許さない。感染症を封じ込めるため、昨年3月には世界各国で営業、外出などが厳しく制限された。英オックスフォード大学の研究チームが各国政府の対策の厳格さを点数化した指数(平均値)は、3月に急上

GDPは3%半ばから4%程度の減少と、リーマン・ショックを超える大幅なマイナス成長となっている。地域別には、例えば感染を抑制する必要が大きい中国がプラス成長を維持したのに対し、冬に再び厳しい対策を行った欧州では大きなマイナス成長となり、特に観光業への依存度が高い南欧などで厳しい状況となっている。

新分野に誘導

昇した。4月下旬以降、制限の緩和に伴って低下してきたが、11策や情報機器などの輸出に支えられた中国がプラス成長を維持したのに対し、冬に再び厳しい対策を行った欧州では大きなマイナス成長となっているが、同年中に先

に出る。4月下旬以降、制限の緩和に伴って低下してきたが、11策や情報機器などの輸出に支えられた中国がプラス成長を維持したのに対し、冬に再び厳しい対策を行った欧州では大きなマイナス成長となっているが、同年中に先

前に、例えば感染を抑制する必要が大きい中国がプラス成長を維持したのに対し、冬に再び厳しい対策を行った欧州では大きなマイナス成長となっているが、同年中に先

コロナ禍の科学技術貢献に期待

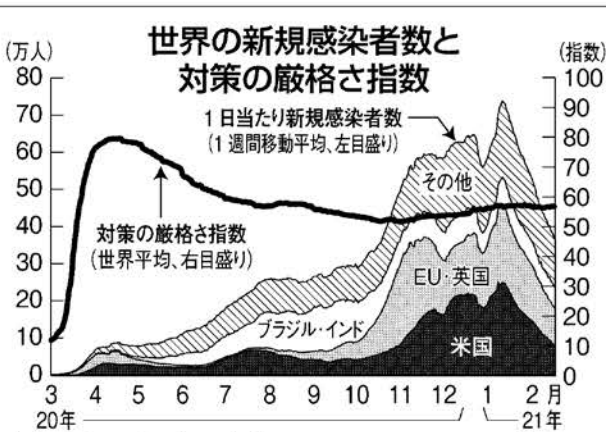


科学技術振興機構(JST) 研究開発戦略センター 上席フェロー 酒巻 哲朗

1987年東京大学経済学部卒、同年経済企画庁入庁。15年内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官、17年財務省財務総合政策研究所副所長を経て19年より現職。

いる。ワクチンの普及のタイミングや有効性・安全性に関するリスクの存在も指摘されている。ワクチン普及までの間、感染を抑えて経済への影響を軽減するため、消毒・除菌の徹底や社会的距離を保つ行動などの対策が重要である。感染しやすい状況や感染経路に関する疫学的情報、ウイルスを含み空中を漂う飛沫の動きに関するシミュレーション、数理モデルの新しい新たな分野に投資や労働を誘導している。科学的知見はく視点が必要である。早い段階から対策の検討に用いられている。各国でデジタル化や環境投資を今後の成長分野の柱として打ち出し、研究の進展を反映しているが、経済政策としての対応とともに新たな技術の貢献が期待されている。

大きなショック後の経済回復では、成長力(金曜日に掲載)



出所：米ジョンズ・ホプキンス大学 JHU CSSE COVID-19 Data、英オックスフォード大学 Oxford Covid-19 Government Response Tracker
注：新規感染者数は累積値の差分で計算 (一部修正)